

おたふくかぜ vol.1

耳の下の耳下腺という組織が腫れて痛くなります。

両方の耳下腺が腫れることが多いですが、片方のみ腫れるケースが20%程度あります。周囲への感染力が強いため、耳の下が腫れているお子さんは事前にお知らせください。状況によって4階あるいは1階での個室隔離をお願いすることになります。

★片方のみ耳下腺が腫れる病気は他に、「反復性耳下腺炎」「化膿性耳下腺炎」があり、おたふくかぜとは別物です。首のエコー検査でほとんど区別可能です。

<おたふくかぜの対処法>

- ・おたふくかぜのウイルスを直接叩く治療薬はありません。安静が第一です。
- ・首の痛みが強い場合は鎮痛剤を使用して下さい。
- ・食事は酸っぱいものは痛くなるので避けましょう。奥歯で噛む必要のある硬い食事も痛みの原因になります。
- ・腫れ始めてから5日間経過しており、元気であれば登園・登校可能です。
- ・一度かかれば、原則として生涯かかりません。



おたふくかぜ vol.2

<おたふくかぜの合併症>

①ムンプス性髄膜炎

おたふくかぜの2-10%に生じるとされています。

頭痛、嘔吐、発熱の持続などを認めたら受診して下さい。

髄膜炎と診断された場合は、入院施設のある病院へご紹介いたします。

②睪炎

首が腫れてから7-10 日後に睪炎を発症することがあります。

腹痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状を認めます。

③精巣炎・卵巣炎

思春期以降の男女に合併します。

精巣炎の症状は精巣の激痛・腫れのほかに、発熱の持続、頭痛、寒気などがあります。

ほとんどが片側のみに発症します。

卵巣炎は下腹部の痛みが主な症状です。

④難聴

日本では1000-4000 人に1 人が合併したと報告されています。

めまいや耳鳴り、ふらつきを生じた後に耳が聞こえなくなります。

聴力は回復しませんが、ほとんどは片方の耳にのみ発症するとされています。

